



あたらしい本

第250号 2024. 10. 15 発行（こども版）



たくさんよんでくださいね！

「クマのひとりのじかん」マルク・フェルカンフ/作

イエスカ・フェルステーヘン/作 化学同人（えほん 幼児向き）

みんなのためにピアノをひくのはすきだけど、ひとりの時間も大事にしたいクマ。

その気持ちをわかってもらうのは、なかなかむずかしいようです。どうしたら、ほかのひとと心地よい距離感ですごすことができるでしょうか…。【ニューヨークタイムズ・ニューヨーク公共図書館 最優秀児童図書賞（2023年）】

「くものなまえ 空となかよくなる天気の写真えほん」

荒木 健太郎/文・写真・絵 金の星社（えほん3～5歳・小初向き）

空を見上げて、雲となかよくなろう！空一面にぼんやりと薄く広がる巻層雲、ひつじの群れのような高積雲、どしゃぶりの雷雨を発生させる積乱雲など、十種雲形といわれる雲の名前と特徴を美しい写真で紹介します。

「ようかいばあちゃんと子ようかいすみれちゃん」

最上 一平/作 種村 有希子/絵 新日本出版社（よみもの 小初向き）

10月の連休、ようかいばあちゃんの家にお泊りにきたすみれちゃん。日暮れ山を見ていてひらめいたのは、ようかいばあちゃんの弟子になって、「子ようかい」になること！さっそく修業の旅に出ることになり…。

「あこがれの図書館」パトリシア・ポラッコ/作 福本 友美子/訳

さ・え・ら書房（えほん 小初向き）

1人の図書館員さんと、1冊の大きな鳥の本。その図書館には、将来の夢につながる出あいが待っていました。作者が絵本作家への道をすすむきっかけとなった大切な思い出を描いた自伝的絵本。

とも きゅうしょくしつ くさの あきこ/文 やまだ かな え
「友だちは給食室のゆうれい」草野 あきこ/文 山田 花菜/絵

きん ほししゃ
金の星社 (よみもの 小中向き)

ねんせい そう た ひ がっこう ざしき な の おんな こ で あ ざしき ふく かみ
4年生の颯太はある日、学校で座敷わらしを名乗る女の子と出会う。座敷わらしは福の神

で「すがたを見たらいいことがある」と、先生から聞いた颯太は、おやつを食べたいという

かのじょ ひみつ けいかく かいし
彼女のために秘密の「おやつ計画」を開始して…。

「マメクジラくん、海へいく」 うみ やました はるお ぶん むらかみ やすなり え
山下 明生/文 村上 康成/絵

かいせいしゃ
偕成社 (よみもの 小中向き)

ナメクジのマメクジラくん。親戚のクジラに会いにいったおじいさんを連れ戻すため、家族に

見送られて旅に出て…。ハラハラドキドキのストーリーと、おかしなセリフのやりとりが楽しい

ものがたり
物語。

「どろぼう猫とモヤモヤのこいつ」 ねこ こでまり るい/作 はやかわ よしお え
小手鞠 るい/作 早川 世詩男/絵

せいざんしゃ
静山社 (よみもの 小中・小上向き)

しょうがく ねんせい たいよう は、ピアノの練習にはげんでる。だけど、いつも同じところでつかえる。

それは、胸のなかで、もやもやざわざわとうごめいている「こいつ」のせいだ。ところがある日

…。「どろぼう猫」シリーズ第2弾。

「いのちのつぼみ」 しずたに もとこ ちょ かいせいしゃ
志津谷 元子/著 偕成社 (よみもの 小上・中向き)

はるか はる ちゅうがくせい め ぐ み だいがく ごうかく じょうきょう いえ
はるかは、この春、中学生になった。いとこの芽久実も大学に合格し上京、はるかの家の

ちか ひとりぐ しだい め ぐ み ひ おだ ひ び なが
近くで一人暮らしをはじめる。はるかは、次第に芽久実に惹かれていくが、穏やかな日々は長く

つづ いのち あ かた と ものがたり
続かず…。命の在り方を問いかける物語。

さかどしりつちゅうおうとしょかん
坂戸市立中央図書館 TEL281-6369

※図書館流通センター「新刊全点案内」より引用